

トラック輸送情報（平成21年5月分）

平成21年9月2日

国土交通省 総合政策局 情報政策本部 情報安全・調査課 交通統計室

担当：桑原、久島 内線28722

直通：03-5253-8346

ホームページ：<http://www.mlit.go.jp/k-toukei/index.html>

1. 特別積合せ貨物

(1) 本月の概況

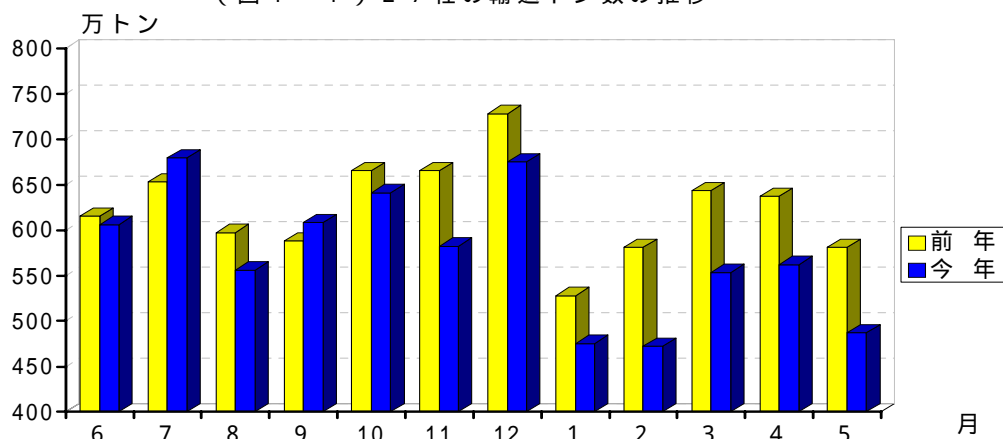
調査対象27社の本月の輸送量は、4,867,963トンで、前月と比べ総輸送量が約75万トン減少したため、前月比86.7%（季節調整済み98.1%）となり、前年同月との比較では、約94万トン減少したため、前年同月比83.8%の実績であった。

なお、平均稼働日数は22.6日で、前月と比べ2.0日減少し、前年同月と比べ0.7日の減少であった。稼働1日当たりの輸送量は、215,397トンで、前月と比べ約1万3千トン減少したため、前月比94.4%となり、前年同月との比較では、約3万4千トン減少したため、前年同月比86.4%の実績であった。

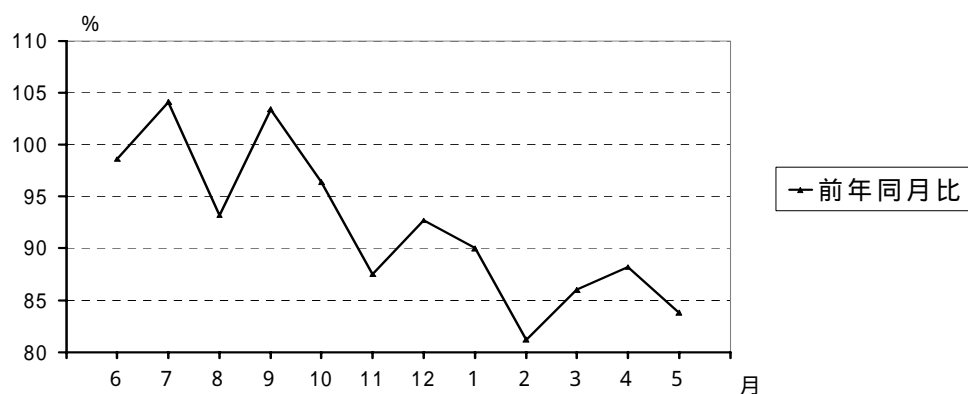
（図1-1、図1-2参照）

注）平成21年4月から貨物輸送の調査対象については、1社増え、27社となった。

（図1-1）27社の輸送トン数の推移



（図1-2）27社の輸送トン数の前年同月比



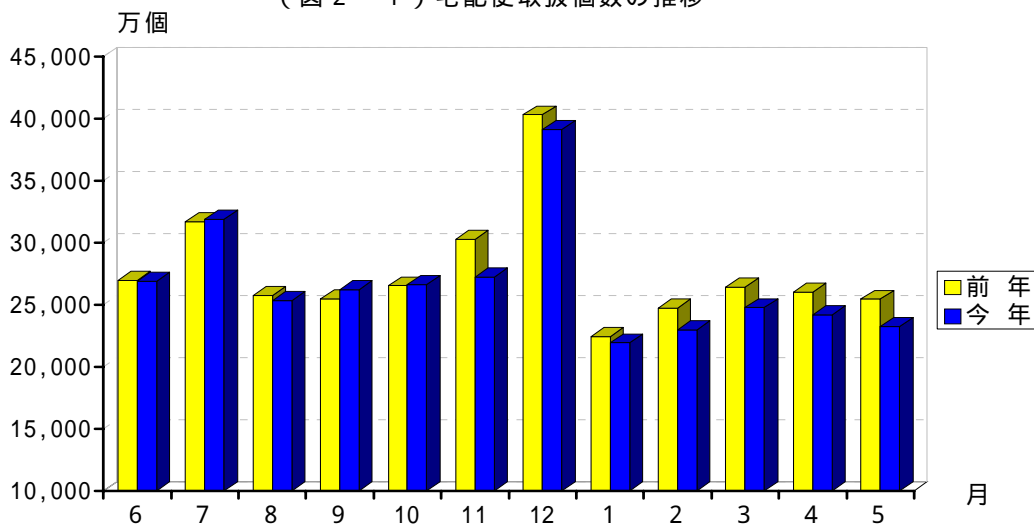
(2) 宅配便の概況

調査対象 19 社の本月の宅配便貨物の取り扱い個数は、232,571 千個で、前月と比べ 約 923 万個減少したため、前月比 96.2% (季節調整済み 100.4%) となり、前年同月との比較では、約 2,183 万個減少したため、前年同月比 91.4%の実績であった。

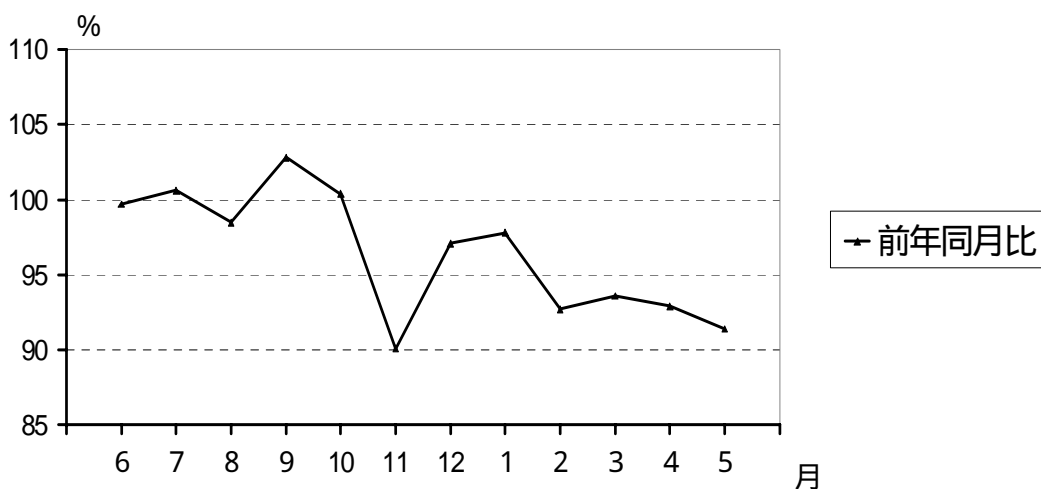
(図2-1、図2-2参照)

注)平成21年4月から宅配便輸送の調査対象については、1社減り、19社となった。

(図2-1) 宅配便取扱個数の推移



(図2-2) 宅配便取扱個数の前年同月比



(3) 調査対象 27 社の品目別及び地域別輸送状況 (表1参照)

前月と比べると、大型連休に伴って平均稼働日数が減少したこと等により、輸送量が減少した。品目別では一部、増加が目立った品目があるものの、ほぼすべての品目で輸送量が減少しており、減少要因としては、主に工場・生産地からの貨物減等があげられるほか、「金属製品」、「機械」、「繊維工業品」では、季節的需要減も要因となっている。地域的には、「農水産品」が中国で増加したものの、それ以外の品目では、ほぼ全国的に減少している。

前年同月と比べると、主に不況に伴う工場・生産地からの貨物減等により、すべての品目で輸送量が減少した。地域的には、「農水産品」が東北で減少したほか、それ以外の品目では、ほぼ全国的に減少している。

(表1) 品目別増減状況(回答事業者数 27社)

品目	増減事業者数					主な増減品目 (上段が増加・下段が減少)	主な増減地域	増減要因	
	著増	増	変らず	減	著減				
前 月 に 比 べ て	農水産品	2	1	12	2	1	青果物	中国	4
	金属製品		1	10	9		その他の金属製品	関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国	4, 7, 8
	機械	1		10	7	2	機械部品	関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国、福岡	4, 7, 8
	化学工業品		1	10	11		合成樹脂、その他の化学工業品	東北、関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国	4, 7
	繊維工業品		1	14	7		織物	東北、関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国	4, 7, 8
	食料工業品			8	7	5	飲料、その他の食料工業品、加工食品	東北、関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国、福岡	4, 7
	日用品			7	9	6	書籍・印刷物、文具、玩具、その他の日用品	北海道、東北、関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国、九州、全国	4, 5, 7
	その他	1		10	8	3	宅配便	関東地方、全国	4
前 年 同 月 に 比 べ て	農水産品	1	2	11	1	3	野菜、青果物	東北	4
	金属製品			7	9	4	その他の金属製品	関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国	4, 7, 9
	機械	1		5	6	8	電気機械、機械部品	東北、関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国、福岡	4, 7, 9
	化学工業品			6	11	5	塗料、合成樹脂、その他の化学工業品	東北、関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国	4, 7, 9
	繊維工業品			11	6	5	糸、織物	東北、関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国	4, 7
	食料工業品		1	11	4	4	飲料、その他の食料工業品、加工食品	東北、関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国	4, 7
	日用品			7	8	7	書籍・印刷物、身廻品、文具、その他の日用品	北海道、東北、関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国、九州、全国	4, 5, 7, 9
	その他			7	8	6	宅配便、百貨店配送品	関東地方、中国、全国	2, 4, 9

(注) 「主な増減地域」については、16地域[全国、6大都市圏(東京、神奈川、愛知、大阪、兵庫、福岡)及び地方運輸局(6大都市圏を含む場合はそれらをのぞく府県、九州は沖縄を含む)]単位である。なお、地方運輸局に6大都市圏を含む場合は「～地方」と表記した。

増 減 要 因	1. 新規荷主獲得(荷主契約解除)	6. 倉庫へ入る貨物増(減)
	2. デパート、スーパーの貨物増(減)	7. 倉庫から出る貨物増(減)
	3. 他機関から貨物が来た(へ流れた)	8. 季節的需要増(減)
	4. 工場・生産地からの貨物増(減)	9. 景気の好況(不況)
	5. 商社・問屋からの貨物増(減)	10. その他

2. 一般貨物

(1) 本月の輸送状況

全国の一般貨物トラック事業者（本月の回答事業者数 799 社 / 調査対象事業者数 1,094 社）の輸送量は、前月比 96.7%、前年同月比 85.2%であった。

(表2) 地方運輸局別 前月比・前年同月比

	全国	北海道	東北	関東	北陸信越	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄
前月比	96.7%	106.6%	94.5%	92.6%	89.6%	91.1%	95.2%	101.7%	96.9%	89.0%	89.9%
前年同月比	85.2%	88.0%	87.2%	85.8%	83.8%	77.9%	83.8%	80.2%	84.8%	86.8%	107.3%

(2) 本月の地方運輸局別管内輸送状況（各運輸局より回答のあったもの）

北海道	<p>本月の輸送は、対前月比 106.6%、対前年同月比 88.0%であった。品目別には、季節的需要増等により「その他の農産品」、「化学肥料」等の輸送量が増加したほか、建設関連の需要増等により「砂利・砂・石材」、「セメント」等の輸送量が大幅に増加している。一方、工場・生産地からの貨物減等により「木材」等の輸送量が減少したほか、季節的需要減等により「その他の石油製品」等の輸送量が減少している。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに増加傾向と予想される。</p>
東北	<p>本月の輸送は、対前月比 94.5%、対前年同月比 87.2%であった。品目別には、工場・生産地からの貨物増等により「非鉄金属」、「その他の製造工業品」等の輸送量が増加した。一方、不況の影響等により「機械」、「揮発油」、「食料工業品」、「取り合せ品」等の輸送量が減少したほか、季節的需要減により「化学肥料」等が減少している。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。</p>
関東	<p>本月の輸送は、対前月比 92.6%、対前年同月比は 85.8%であった。品目別には、季節的需要増により「食料工業品」の輸送量が増加した。一方、不況の影響等により「その他の製造工業品」等の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。</p>
北陸信越	<p>本月の輸送は、対前月比 89.6%、対前年同月比は 83.8%であった。品目別には、建設関連の需要増等により「鉄鋼」、「セメント」等の輸送量が増加したほか、工場・生産地からの貨物増等により「食料工業品」の輸送量が増加している。一方、工場・生産地からの貨物減等により「木材」等の輸送量が減少したほか、商社・問屋からの貨物減等により「機械」等の輸送量が減少している。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。</p>
中部	<p>本月の輸送は、対前月比 91.1%、対前年同月比は 77.9%であった。品目別には、工場・生産地からの貨物増により「紙・パルプ」の輸送量が増加した。一方、不況の影響等により「機械」の輸送量が減少したほか、季節的需要減により「揮発油」等の輸送量が減少している。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。</p>
近畿	<p>本月の輸送は、対前月比 95.2%、対前年同月比は 83.8%であった。品目別には、倉庫への入出庫増により「その他の窯業品」の輸送量が増加した。一方、不況の影響等により「食料工業品」等の輸送量が減少したほか、季節的需要減により「機械」等の輸送量が減少している。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに増加傾向と予想される。</p>
中国	<p>本月の輸送は、対前月比 101.7%、対前年同月比は 80.2%であった。品目別には、工場・生産地からの貨物増等により「化学薬品」等の輸送量が増加したほか、季節的需要増等により「穀物」の輸送量が増加している。一方、工場・生産地からの貨物減等により「木材」、「砂利・砂・石材」、「鉄鋼」等の輸送量が減少したほか、季節的需要減等により「野菜・果物」、「食料工業品」等の輸送量が減少している。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともにほぼ横ばいと予想される。</p>
四国	<p>本月の輸送は、対前月比 96.9%、対前年同月比は 84.8%であった。品目別には、季節的需要増により「野菜・果物」、「水産品」等の輸送量が増加した。一方、不況の影響等により「化学薬品」、「その他の化学工業品」等の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに増加傾向と予想される。</p>
九州	<p>本月の輸送は、対前月比 89.0%、対前年同月比は 86.8%であった。品目別には、季節的需要増等により「野菜・果物」等の輸送量が増加した。一方、不況の影響等により「その他の石油製品」、「紙・パルプ」等の輸送量が減少したほか、建設関連の需要減等により「セメント」等の輸送量が減少、季節的需要減等により「日用品」、「その他の製造工業品」等の輸送量が減少している。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。</p>
沖縄	<p>本月の輸送は、対前月比 89.9%、対前年同月比は 107.3%であった。品目別には、工場・生産地からの貨物増により「その他の窯業品」の輸送量が増加したほか、商社・問屋からの貨物増により「日用品」の輸送量が増加している。一方、季節的需要減により「穀物」の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに増加傾向と予想される。</p>

(3) 運輸局別、品目別増減状況(対前月比)

回答のあった事業者数を取りまとめた。各欄のうち上段は増加、下段は減少件数である。

品目		運輸局										
		北海道	東北	関東	北陸信越	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄	全国計
1. 穀物	増		1			1		2		2		6
	減		1								1	2
2. 野菜・果物	増							1	1	7		9
	減		1	1			1	2	1	4		10
3. その他の農産品	増	2										2
	減		1	1				1	1	3	1	8
4. 畜産品	増		1									1
	減	1								2		3
5. 水産品	増	1			1				2	1	1	6
	減				1	1				2		4
6. 木材	増	1	1		1							3
	減	3	1		2	1		5		2		14
7. 薪炭	増											
	減											
8. 石炭	増		1									1
	減	2								1		3
9. 金属鉱物	増	1										1
	減											
10. 砂利・砂・石材	増	18	1					2		1		22
	減	3	1		1	1		5		2		13
11. 工業用非金属鉱物	増	2	1				1	1		1		6
	減		1					1				2
12. 鉄鋼	増	1			1		1		1			4
	減	2	1	1	1		1	4		2	1	13
13. 非鉄金属	増	1	2									3
	減				1		1			1		3
14. 金属製品	増									2		2
	減	1	1		1		3	3		2		11
15. 機械	増	1			1		1	1		2	1	7
	減	1	4		5	2	2	1		3		18
16. セメント	増	9	1		2	1						13
	減	1	3					1		4		9
17. その他の窯業品	増		1				1				1	3
	減		1					2				3

品目	運輸局	北	東	関	北	中	近	中	四	九	沖	全
	道	海	北	東	陸	部	畿	国	国	州	縄	国
18. 揮 発 油	増											
	減	1	2	1	1	2			1	1		9
19. その他の石油製品	増							1				1
	減	4	1		4				1	3		13
20. コークス・ その他の石炭製品	増											
	減				1							1
21. 化学薬品	増		1				2	2				5
	減	1					1		1			3
22. 化学肥料	増	2						1				3
	減	2	3		2			4		3		14
23. その他の化学工業品	増									1		1
	減						1	3	1	1		6
24. 紙 ・ パルプ	増	2			1	1	1	1	1	1		8
	減		1	1	1		1	2	1	2		9
25. 繊維工業品	増											
	減							3	1			4
26. 食料工業品	増		2	1	2		1	1		3		10
	減	1	6	1	2		3	8		3		24
27. 日用品	増				1		1	1		1	1	5
	減	4					1	3		5		13
28. その他の製造工業品	増		1				1		2	1		5
	減		1	2	1		1	2		7		14
29. 金属くず	増											
	減						1				1	2
30. その他のくずもの	増	1										1
	減	1					1					2
31. 動植物性飼・肥料	増	3						2		1		6
	減	1		2				1				4
32. 廃棄物	増							2				2
	減	1	1	1	1					1		5
33. 輸送用容器	増		1					1				2
	減	1			1					1		3
34. 取り合せ品	増											
	減	2	2	1		1	2	4		1	1	14
35. その他	増				1		2		2			5
	減		3	5	4	4	2	11	1	1		31